

竹原管内景況調査

6月の景況DIは、製造業は好転、非製造業は悪化

当所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、令和3年6月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

調査概要

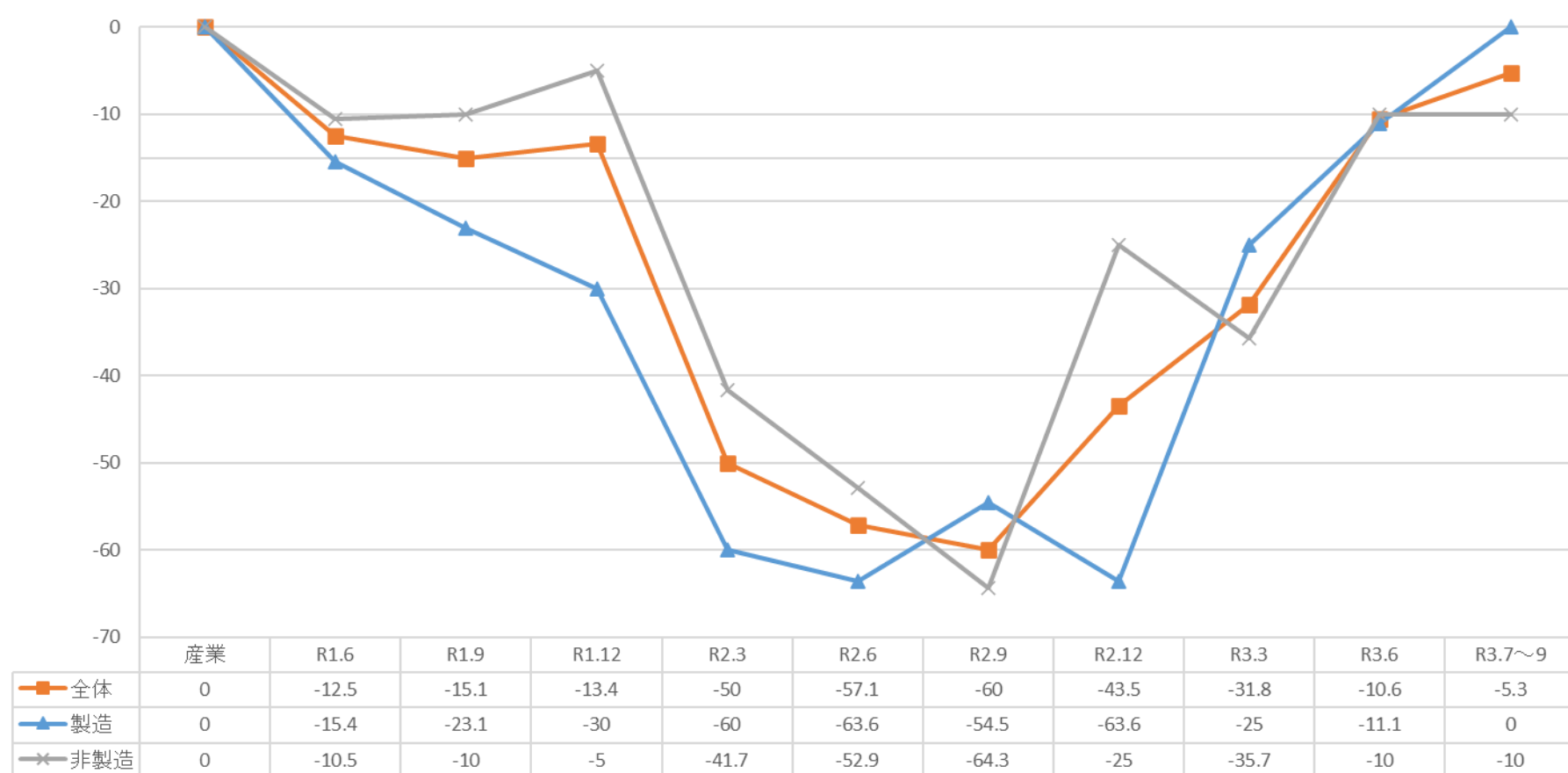
【調査時期】
四半期毎に調査(年4回実施)
【調査期間】
令和3年6月
【調査対象】
当所会員

回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	16	9
建設	5	3
小売	11	2
サービス	15	5
合計	47	19

●全産業におけるDI値

景況DIの推移



6月の景況DI数値は、前回調査と比べて製造業は19.9ポイント好転し、非製造業は25.7ポイント好転しています。6月と比べて7月~9月までの見通しは、全体では、5.3ポイント好転しています。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

●景況が好転(悪化)した理由について

《製造業》

- ・昨年のコロナ影響に伴う巣ごもり需要増の反動が今期は出ている。また、外出規制が継続され、引き続き、外食向けやお土産需要は低迷している。一方で、行動制限のため在宅勤務、リモート会議が定着し、出張等が大きく減少し生産性の向上、出張費等の抑制が進んだ。(食品)
- ・緊急事態宣言の影響が大きい。(食品)
- ・前年度に比べ、新型コロナウイルスの影響は減少している。しかし、半導体等の値上がりが大きくなっている。(機械)
- ・依然として、営業活動の制約により顧客への訪問ができない。(機械)
- ・飲食店への納品がほぼない。(食品)
- ・各所の客先への出張打合せ事案が激減。(鉄工)

《非製造業》

◇建設業

- ・コロナ禍による影響はなし(建築工事)

◇小売業

- ・コロナ禍によるお客様の外出自粛によるアパレル用品の購買意欲の減少(アパレル)
- ・外出自粛による来店頻度の減少。

◇サービス業

- ・広島県緊急事態宣言により、休業などによる売り上げ減少、収益の悪化など事業として厳しい状態となっている。(宿泊)

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)